



元気いっぱい！苅っポー



No. 225 令和5年3月15日

夢と希望に向かって
努力する子ども

友達と仲良く
助け合う子ども

約束や決まりを守り
あいさつする子ども



忘れはしない

宮城
強

みんなが出会ったこの教室で
夢がいくつも 生まれたね
喜びと悲しみを
共に 分かち合い
輝く希望があふれたね
別れても 別れても
忘れはしない みんな仲間
忘れはしない

みんなが出会ったこの学校で
ドラマがいくつも 生まれたね
一つ一つの時間の中で
一つ一つの行事に
若い力で 向かっていったね
別れても 別れても
忘れはしない みんな仲間
忘れはしない



祝・卒業

6年前の4月、希望と期待を小さな胸いっぱいにもって登校してきた子どもたちがいよいよ17日、巣立っていきます。一口に6年間と言ってもしまえば簡単なことですがその年月は、私には多くの思い出が1ページ1ページつまっているすてきなアルバムのように思えます。

鉄道に例えるならば、長距離鉄道の5つの駅を無事通過し、いよいよ6つ目の駅に到着するばかりになったところではないでしょうか。6つ目の駅には、「祝・卒業」の文字と「中学駅」という乗り換えの駅舎が見えます。

6年前、この長距離鉄道に乗った子どもたちは、長い長い旅の中で様々な学問を身につけ、人としてのいろいろな貴重な経験を経て、今日に至りました。毎日の学校生活のなかでの友だち、先生との出会い、教室での生活、そして数多い行事が子どもたち1人1人を成長させてくれたのだと信じています。

卒業生のみなさんの新しいスタートを心から応援します。